

<ジカウイルス感染症>

リオオリンピックが近づいており、現地で流行しているジカ熱の世界的な拡大が恐れられています。そこで今回はジカ熱、ジカウイルス感染症についてご紹介します。ジカウイルス感染症とはヤブカ属の蚊によって媒介されるジカウイルスによる感染症であり、ジカウイルスの症状はデング熱に似ていますがそれよりも軽いです。

<症状>

潜伏期間は3～12 日で、不顕性感染率（細菌やウイルスなど病原体の感染を受けたにもかかわらず感染症状を発生しない状態）は約80%とされています。多く現れる症状としては発熱（38.5℃を超える高熱は稀）、斑状丘疹性発疹、関節痛、関節炎、結膜充血などで、その他にはめまい、下痢、腹痛、嘔吐、下痢、便秘、食欲不振などをきす場合があります。

<治療・予防>

痛みや発熱に対して解熱鎮痛剤を投与する程度にどどまることがほとんどです。脱水症状が強い場合は輸液も実施する事もあります。予防としては、日中に蚊（ヤブカ）に刺されない工夫が重要であり、長袖服・長ズボンの着用、昆虫忌避剤（DEET を含むものが効果が高い）の使用など。またブラジルでは妊婦がジカウイルスに感染することで胎児が感染し、小頭症児が多発しているため妊婦あるいは妊娠の可能性のある女性はジカ熱が流行している場所への旅行などは避けましょう。

ジカ熱そのもので健康な成人が死に至ることは稀であるが、基礎疾患があり免疫力が低下している場合は死に至ることもあるので注意が必要です。※現在（7/23）、日本では国内感染したという症例はありませんがジカ熱が流行している地域で感染して日本国内で発症した報告は

過去に数件あるそうです。

みんなで日本代表選手を応援しましょう！！

しなぐろ整形外科クリニック